



- H16年度版HMから、噴石と火砕流は、**大きな変化なし**。
- H16年度版HMより、**融雪型火山泥流**の裾野市街地への**流下範囲が小さい**。
- 溶岩流が**2～3時間程度で到達する範囲が拡大**（噴火後では間に合わない状況）
→ **噴火前（全方位避難）が必要な地域が拡大**（避難対象エリアの大修正が必要）
- **水系（河川）沿いに溶岩流の流下速度が速い**。（1日で河川沿いに市街を南下）
→ **市街地も早目の避難が必要**、また、**早い段階から「市外避難」が必要**

数日間以上で流れ下る範囲
 青色：～7日間 水色：～最終的